

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

## こりす 2歳児クラス便り

令和5年5月16日

文責 大角 千代美

### 思いを大切に ～楽しい食事～

新しいクラスになって1ヶ月半、給食にも少しずつ慣れてきている様です。椅子やランチョンマットは自分で準備を行い、ご飯や汁、おかずもお盆に載せてこぼさない様に運んでいます。手掴みでこぼしながらも意欲的に食べる子ども達や「こう？」「先生、こうだよ」とスプーンの持ち方を意識して友達同士で確認し合ったり、私や周りの職員に「見て見て、こうでしょ」と右手でスプーンを下から持ち親指、人差し指、中指の3本で握り確認する姿がみられています。1歳児の時はダイナミックに手掴みで食べる子や苦手な物は口から出してしまう姿も見られましたが、2歳児になり「美味しいよ、食べてみて」「食べられるよ」と誘ったり、励ます事で少しずつ食べる楽しさを感じて食べる様になってきました。

先日のお弁当の日、えいと君が苦手なプチトマトを持って来ました。自宅で「トマトは嫌いだから入れないで」と一旦は拒否したものの、「やっぱり食べれるから入れていいよ」と自分で決めて持ってきたとの事でした。お弁当を開くやいなやすぐさま口の中にトマトを入れたえいと君。苦手な物を口にした時の表情（写真）を見せながら、ゆっくりと咬んでは中の種が飛び散る様子を気にしながらも吐き出す事無く完食。「食べれたよ」と嬉しそうな表情を見せてくれました。苦手な物を自分で決めて食べる意欲に驚くと同時に3歳でこんなことまで考えれる成長に頼もしさを感じました。えいと君に影響を受けて、「これ、食べるからね、見てて」と次々に苦手な物を口にする子ども達。ひなのさんも「この、玉ねぎ嫌いなんだけど」と言いながらも「私と一緒にだね」「美味しいよ、食べてみて」と私が自分の玉ねぎを口にするとちょっと戸惑った表情ではありましたが口に運ぶやいなや「美味しい」と完食しては「食べれた」と笑顔を見せていました。まだまだ、苦手な食材も沢山あるかと思いますが決して無理強いなどはせず、少しずつ食べる楽しさを伝えていきたいと思えます。

#### \*\*\*お願い\*\*\*

衣替えの季節がやってきました。日中の気候の差がありますので、調節しやすい衣服をご準備頂けたらありがたいです。また、肌寒い日は脱ぎ着しやすい薄手のものをお願い致します。

また今、自分でやりたい気持ちいっぱいの子供たちを大事に関わっています。巾着やポーチを使用して細かく分別して下さっているご家庭がありますが、子ども達が自分自身で着替え出し入れをする際に取り出しやすいように入れて下さると助かります。

(分からない点がありましたらお知らせ下さい)

☆ 27日に行われる保育参観では子ども達のスプーン握りの様子を見て頂き、今後の箸への移行や持ち物について話していけたらと考えております。是非、ご参加ご協力を宜しくお願い致します。

☆ 毎週月曜日は帽子、パジャマ、園用の靴を持たせて下さるようお願い致します。



★日常の子ども達の様子★

(ソラマメ向きに挑戦!!) →

← (初めてのトマト)



← (豆すくいあそび) ↑

(魚釣りあそび) →



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵 解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田瑞穂 (099-482-2927) 横峯友里子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)